
チョコレートを買いに

かせいち

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

チヨコレートを買いに

【Nコード】

N1012G

【作者名】

かせいち

【あらすじ】

彼女はチヨコレートが何より好きだ。

僕の彼女はチョコレートが好きだ。

三度の飯よりチョコレートが好きだ。

彼女の家に行くと、テーブルの真ん中に可愛い花柄のミニバスケットが置いてあるのだが、中にはいつもチョコレートが詰められている。

彼女のバッグにはいつも小さなチョコレートの箱が常備されている。

彼女とカフェなんかに行っても、必ずチョコレートケーキやチョコレートパフェを注文する。

彼女はチョコレートが好きだ。

そして僕はチョコレートが苦手だった。

あまり好んで食べたりはしなかった。

そのことを彼女に言くと、彼女は少し悲しそうな、ふてくされたような顔をして、

「じゃあ14日はバナナマフィンだね」

と言った。

どうしてバナナマフィンなの、と聞くと、

「だって、バナナは栄養あるのよ。すぐエネルギーに変換されるし」
たっぷりのバナナで作ってあげるからね、そう言って笑った。

14日の夜、僕は彼女と会う約束をしていた。

彼女のアルバイトが終わり次第会おう、と言っていた。

しかし待てど暮らせど彼女は現れなかった。

電話をしてもメールをしても、音沙汰無しだった。

数時間後、彼女の友達から連絡が入った。

彼女は交通事故に遭ったのだと言う。
いま総合病院にいるのだと言う。

僕は慌てて車を走らせた。

彼女の友達に告げられた病室を訪ねると、ギブスを着けた彼女が横たわっていた。

「陽くん、」

彼女は僕の姿を見るなり、がばりと起き上がった。

「たはは、事故っちゃったよ。折れちゃった」

そして笑っていた。

「参っちゃうよ、バイト終わって原付乗ってたら、狭い道で無理矢理抜こうとするんだもの。いくらちっこい原付でもぶつかるよねえ」

僕は息を切らして、その場に立ったままだった。

彼女は言葉を続けた。

照れ隠しのように。空元気のように。

「骨折なんて生まれて初めてだよー。学校行くの大変だ。バイトも休みもらわなきゃ。あっこれじゃ遊びにも行けない」

「雪、」

僕は彼女の言葉をさえぎって、彼女を抱きしめた。

「心配した」

「・・・ごめん」

彼女はぎゅっと僕の背中に手を回してきた。

「・・・陽くん、あのね」

彼女はそっと僕から離れて、

「ごめん、あの・・・」

ベッドサイドにあったバッグから、何やら取り出した。

「これ・・・」

それはべこべこにへこんでひしゃげた箱だった。

そっと受け取って、中をのぞくと、焼き目の付いた小麦粉の塊が、ぐちゃりと潰れて箱の側面にべったりと張り付いていた。

「ごめん、バナナマフィン・・・そんなになっちゃった」

しゅんとしおれた顔をしている彼女を見て、僕は思わず笑った。
そんなことを気にしていたのだ。

自分が事故に巻き込まれたことやケガをしたことより。

「雪、じゃあさ」

だけど僕は知っていた。

彼女が元気になる方法を。

「チョコレート買って来るよ」

彼女の顔にぱつと明かりが灯るのが目に見えた。

「チョコと、あとはバナナがいいかな。栄養あるからね。すぐエネルギーになる。きつと骨もすぐくつつくよ」

「アーモンドチョコがいい！」

「わかった、買って来る」

すぐ戻るから、と言って、病室を出ようとして、僕は立ち止まった。

「あ、その前に、」

僕はひしゃげた箱を手にとって、

「これ食べてくよ」

箱の底にわずかに残ったぼろぼろの塊をつまんで、口に放った。
ふわりとぼやけた甘さ。

チョコレートみたいにきつくない甘さだ。

「うまいよ」

彼女はえへへと照れたように笑った。

「ありがとう」

僕はチョコレートを買いに出かけていった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1012g/>

チョコレートを買いに

2010年10月10日06時55分発行